



まなび

夏休み号 R6. 7. 19

さくら市立南小学校 学習指導部

いよいよ 夏休み！

いよいよ、今週末から夏休みとなります。子どもたちにとっては待ちに待った夏休みです。時間を有効に使い、日頃体験できないようなことに挑戦し、楽しい思い出いっぱいの夏休みになればと思います。

夏休みの学習について

夏休みの課題は、各学年で選定した夏休みのドリルを中心に学習を進めます。国語や図工の作品については、1～4年生はどちらか選択、5・6年生はそれぞれ1点取り組む課題となっています。詳しい課題は各学年から出る学年だよりをご覧ください。

夏休み明けには、「国語・算数テスト」があります。夏休みの学習を確かめるテストになります。出題範囲は、主に夏休みの課題の中からはなっています。学年に応じて出題数は変わりますが、4～7月までの学習範囲です。再テストや補習はありません。この確認テストで、夏に蓄えた力が十分に力が発揮できるよう、ご家庭でのお声掛けをお願いいたします。

夏休みの学習のポイント

- 1 早寝早起きを心掛ける。
- 2 日課表を作り、毎日の学習時間を決める。
低学年は1時間、中学年は2時間、高学年は3時間。
それを目安にそれ以上取り組んでみましょう。
- 3 学校から出ている課題にしっかり取り組む。

※朝の涼しいうちに、取り組みましょう！



子どもをグングン伸ばす！家庭学習



長い夏休みのスタートと共に、長い「家庭学習」期間が始まります。夏休みはお子さんの学習を見直すチャンスです。普段時間がなくて取り組めていないことも夏休みを使えば十分達成できると思います。

まずは、夏休み勉強するにあたって大きな目標を決めましょう。これは夏休みの終わりにお子さん自身が達成感を感じることができるようになるために大事です。夏休みが終わったときに成果としてきちんと目に見えやすいゴールを設定しておくこと、日々の勉強に対する意識やモチベーションにもぐっとハリがでます。

「栃木県総合教育センター」から出されている家庭学習についてのリーフレットの一部を紹介します。お子さんとコミュニケーションを取りながら、ご家庭にあった学習スタイルを見つけていってください。そして、夏休みの学習を習慣化させていってください。

家庭学習を支える4つのポイント

～おうちの方はお子さんの最大のサポーターです～

下に示した4つのポイントは、家庭学習の習慣を身に付けることはもとより、お子さんの健やかな成長のためにも大切なことです。お子さんが低学年のうちは、生活のリズムを整えることを中心にサポートし、学年が上がるにつれて、学習の計画を立てて実行できるようにするなど、自主性を伸ばしていきましょう。



生活のリズムを整える

- 早寝、早起きを心がけさせましょう。
- 朝食をきちんと、とらせましょう。
- テレビやゲームの時間を決めさせましょう。



学習の計画を立てる

- 具体的なめあて(時間・内容)を立てさせて、実行できるように見守りましょう。
- 学習時間になったら、机に向かっていることを見届けましょう。



学ぶ雰囲気をつくる

- 家族で過ごす時間を大切に、お子さんの話をしっかりと、聞きましょう。
- ニュースなどを話題にして、社会への関心を広げましょう。
- 家族で読書をする時間をつくりましょう。



努力を認め励ます

- 一つのことを継続して取り組ませたり、少し難しいことに挑戦させたりして、やり遂げることの喜びを体験させましょう。
- ノートや作品などを見て、努力や向上した点をほめ、やる気を引き出しましょう。

